

Alto

Clarinet

原山 佐保子 Sahoko Harayama



今年度の課題曲では、Ⅱ、Ⅳのマーチにアルトクラリネットがオプションで書かれています。

『希望の空』は8分の6拍子のマーチです。2分の2拍子と比べ、より流れのあるマーチです。流れを止めずに8分の6拍子のマーチを演奏するのは難しいですね。3拍目、6拍目が後ろにより過ぎると、付点のリズムになってしまいます。メトロノームで練習する時に、3拍目、6拍目を少しアクセント気味に、メトロノームに正確に合わせてながら練習し、その感覚に慣れたら、アクセントを取り、2拍子に戻して練習すると良いでしょう。

I. さくらのうた / 福田洋介

Ⅳからはのびのびと歌いましょう。6小節目のような形(譜例①)は3拍目を重くせず、正確に2拍目で感じて吹いてください。前の小節からタイになっている音が長すぎることはないように。タイの終わり、小節頭の8分音符の長さを正確に感じるとうまくいきます。

譜例①



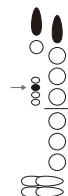
管楽器は音の立ち上がりが遅いので、16小節目のような入りは、4拍目の8分休符を「ウン」と感じると遅れてしまいます。「ウッ」くらいに感じ早めに入るとちょうど良く入ることができます。

Ⅵから出てくるプラルトリラー(譜例②)は、サイドキィを使ってください(運指A)。トリルの付いた音を頂点に16分音符は頭が強くないよう。Ⅷ4小節前の上から降りてくる音は、下のド♯まで下がったあとすぐに上の記音ミまで上がらなくてはなりません、音が下がるのと一緒に、息の方向やアンブシュアが変わってしまわないよう、また息を保って吹けるように練習しましょう。

譜例②

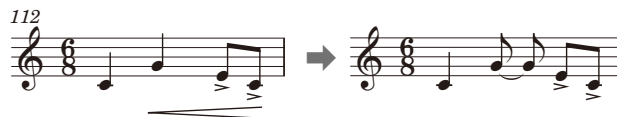


運指A



Ⅸの1小節前は、譜例③のように感じると正確に吹けます。

譜例③



Ⅱ. 行進曲「よろこびへ歩きだせ」 / 土井康司

『さくらのうた』の柔らかな感じとはまた違い、2分の2拍子の力強さのあるマーチです。シンコペーションがたくさん出てきますので、正確なリズムで吹けることがポイントです。

冒頭アルトクラ、バスクラにある4分音符は、長すぎないようにはっきりと(譜例④)。

譜例④

